

板野中学校 同和教育だより

MY SKY 第5号

マイ・スカイ

2001年6月5日(毎月第2・第4火曜日まで)発行

\(\sim\sim\)/

発行者

編集・文責
馳吉成正士

先日、ある保護者とお話をしていましたが、その中でMY SKYが保護者の方々まで届いていないということが分かりました。私としては、これはショックです。生徒のみなさんにもじっくり、大切に読んでほしいのですが、それと同時に、お家の人にも読んでほしいのです。忙しくて読めないときもあると思います。分かりにくく、難しくって読みにくい時もあると思います。それはそれで構いません。でも、学校で今やっていることとか、これからあることなんかを、同和教育として発信していきたいんです。

生徒のみなさん、読み終わったら、必ずお家の人に渡すなり、気づく所に置いておいてくださいね！



こうないぶらくもんだい いけんはっぴようかい

「校内部落問題意見発表会」におせで(6月11日：板野中学校体育館)

今年もいよいよこの季節がやってきました。毎年のように、ハッとさせられるような原稿がいくつも発表されてきました。

差別を受けるかもしれない立場からは、差別を受けてきたことや、差別を受けてきた父母・祖父母の現実とその悔しい思い。そして、それでもなお人間としての誇りを失わず生き抜いてきた、たくましい生き様。差別をするかもしれない立場からは、「差別的な言葉や行動を目の当たりにしてどうしていいのかわからない」という苦しい思いと、正しいことをねばり強く訴えていく中でつくられた、人間としての本当の強さとつながり。そんな現実の生活の中にあるものは、どちらも「人間としてどう生きていくのか」ということであったように思えます。

しかしその反面、真剣に考えられてなかったり、同情的な原稿を聞くこともありました。また原稿を聞く以前に、意見発表会に向けての取り組みに対して「しんだ～」と言ってみたり、嫌そうな雰囲気を感じることもありました。そんなその場過ぎのような原稿や場は、いつも私の心を逆なでし、「もう聞きたくない！ いっそのこと読んでくれるな！」と思わせてしまいました。そしてそんな原稿の繰り返しは、いつしか「あきらめ」につながってしまうのでした……。

さて、みなさんにとって、今回の意見発表会に向けての取り組みは、どちらのものとなったのでしょうか？なっているのでしょうか？どうせ取り組むなら、真剣に、そして楽しく取り組みたいものです。私たち人間のことを考えているんですから！

今年はどんな原稿が発表され、その原稿を聞いた私たちが何を感じ、何を考え、これからどう行動を起こしていくのか……。楽しみです。

次の原稿は、以前板中代表となった中学生のものです。この機会に読んでみてください。

私が部落問題を初めて知ったのは、板野に転校してきたときでした。前の学校では部落問題について勉強したことがありませんでした。だから板野に来たときは、『部落って何?』と思っていました。だから初めは、あまり集中もせず、少し^{か げん}いい加減な気持ちで学習していました。

板野東小学校に来てから今まで、ずっと部落問題について私なりにいろいろ考えてきました。そうしているうちに、この問題の大切さがわかってきました。そんなとき友達に、

「全体学習ってしんどいなあ。どうして部落問題学習やせないかんのだろう?」
 というようなことを言われました。この言葉を聞いて、『部落じゃない人は、部落の人ほど^{ねっしん}熱心に学習に取り組めてないなあ』と思いました。部落の人は、自分が差別されるかもしれないという立場にいるから、差別をなくしたいと思っていると思うけど、部落でない人は、自分が部落出身という理由で差別^{た にんご と}されることがないわけだから、もちろんみんながみんなというわけではないけど、少し^{た にんご と}他人事のようにとらえているところがあると思いました。でも、私はそのことがすごく嫌でした。なぜかという、差別されることがないということは、差別する側^{がわ}の人間になってしまうかもしれないと思ったからです。私は、差別なんてしたくないと思っています。差別する人間は、自分より下を見る弱い人間だと思っています。だから、『そう考えている人に自分になるかも』と思うとすごく嫌で、差別をなくしたいという気持ちがわいてきました。

部落問題を学習している中で、「部落の子とあまり仲良くせられんよ」とか、「同和地区の方にあまり遊びに行かれんよ」とかいう大人がよく出てくるけど、私はそういう考えを聞いて、『自分はこういう人にはなりたくないな』と思いました。なぜなら、そういうふう^{みにく}に考える人は醜^{みにく}く思えるからです。

私の家族は、自分で言うのも変かもしれませんが、結構^{けっこうなか}仲がいいと思います。私が小さかった頃から、親と一緒^{いっしょ}に過ごす時間が本当に多く、会話^{かいわ}することも多かったように思います。今でも親とたくさん話をします。その中には、部落問題のことについて真剣に話したこともありました。

私は母に、結婚なんてまだまだ先のことだけど、
 「もし、私が将来、部落の人と結婚したいって言ったらどうする?」
 と以前聞いたことがありました。すると母は、
 「別にお母さんは気にせんよ。世の中には部落の人じゃなくても、いい人でない人はいっぱいおるし、部落の人であつても、部落じゃない人よりずっといい人はおるけん。自

第6回部落解放福島県学習会中学生集会

◆ 第2回実行委員会、盛況のうちに開催!! (6月2日: 不動総合センター) ◆

この2日、タイトルの会が不動総合センターで行われました。総勢100名あまりの県内各地から集まった中学生たちにまじり、板中からも20名あまりのみなさんが参加しました。

2名の委員長を選出するところに、8名の立候補者が演説を行うなど、中学生のやる気は満々でした。また8名の副委員長を選出するとき、10名の立候補者が名乗りをあげたのですが、板中からも2名の立候補者が演説を行い、見事二人とも副委員長に当選しました~!!

その他にも、委員長・副委員長をサポートする立場として執行部員を募集したのですが、そちらにも板中から2名が名乗り出ていました。みんながんばれ~!

ちなみに次回(第3回)からは、グループに分かれて意見交換を行うのですが、そのテーマは「部落の友達について」と決まりました。いろんなことについてよく考えたうえで、学習会のみなさんは是非参加してみましよう!

行ってみようかなという学習会のみなさん! 次回も誘い合ってみんなで行こう!

部活の先生方も、できる範囲でご協力お願いしま~す!

これからの準備会の日程

第3回実行委員会

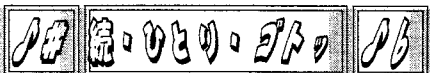
日時 6月16日(土)14:00~16:30 場所 応神総合センター公栄館

参加者 学習会生徒・学習会担当教員 交通 引率教員の車 保護者の了解を得ておいください

第4回: 7月7日(土)

本大会: 8月28日(火) 郷土文化会館

参加希望者は、前日までに学習会または学級担任の先生まで申し出ておいください



■日曜日の夜、「情熱大陸」という番組に「忍足亜希子」さんが出ていました。3年生は覚えているかな? 1年生の時に学校で観た映画「アイ ラヴ ユー」の主人公です。彼女は日本初(耳の聞こえない)女優です。次の映画のタイトルは、「アイ ラヴ フレンズ」だそうです。できあがりを早くみたいものです。

■そして次回の日曜日の「情熱大陸」は、以前MY SKYでも載せた、「徳山(洪)昌守」です。在日朝鮮人としてボクシングの世界チャンピオンに君臨する

彼の素顔がどんなものか、今から楽しみです。本当にカッコイイですから、みなさんも見てみてください! ■前号の中で、NHKが「ハンセン病特集」を5月30・31日に放送する記事を書きましたが、実際には28・29日に放送されたようです。期待していたみなさ

んには、大変申しわけないことをしました。この記事を載せた徳島新聞社と、放送日を変えたNHKにクレームの電話をしたところ、6月5日深夜^{しんや せうちやう}、6日早朝^{そうちやう}の0:30から、NHK教育「ETV2001」で再放送されるということを聞きました。前^{ぜん}・後編^{こうへん}で一挙^{いっきよ}に放送されるそうです。是非ご覧ください。私もビデオに撮ろうと思っています。

〇〇〇 〆〆〆〆〆〆 〇〇〇

- 6月8日(金) 学習会東校区保護者会(19:30～；東公会堂)
- 11日(月) 校内部落問題意見発表会(終日；体育館)
学習会解放子ども会フィールドワーク(16:10～17:40；南公会堂)
- 13日(水)・14日(木) 校内同和かるた取り大会
- 15日(金) 学習会南校区保護者会(19:30～；南公会堂)
- 16日(土) 第6回部落解放徳島県学習会中学生集会第3回実行委員会(14:00～16:00；応神公会堂)
- 18日(月) 学習会解放子ども会フィールドワーク事後学習(16:10～17:40；南公会堂)
- 19日(火) 板野町学校同和教育研究会県立校部会(午後；板野養護学校)
- 27日(水)・28日(木) 1年生宿泊研修(牟岐少年自然の家)
- 30日(金)～7月1日(日) 板野郡総合体育大会
- 7月3日(火)～5日(木) 1学期末テスト